

事業実績報告書

様式2
(2020年度)

※この報告書は、なごや環境大学のウェブサイト上に記録として掲載されます。

講座番号	B-56	講座名	防災サバイバル体験～災害時に役立つ防災知識を身につけよう！～
記載日	2021/3/31	団体名・企業名	認定NPO法人レスキューストックヤード
<p>〈講座全体の概要〉(300字程度)</p> <p>2018年の北海道胆振東部地震、西日本豪雨、2019年度の台風19号水害など、毎年のように各地で発生している自然災害に対して備えることは重要である。本講座は親子を対象に災害の恐ろしさや防災の大切さを伝えていき、災害時に役立つ知恵やワザを身に付けていき、いざという時に正しい行動がとれる人材を育成する。</p>			
<p>〈写真添付スペース(1～2点)〉</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="width: 45%;">  </div> <div style="width: 45%;">  </div> </div>			
<p>※写真1の説明</p> <p>手洗いチェッカーを使用し、正しい手洗いが出来ているかを確認している様子 2020年10月11日（日）戸田川緑地</p>		<p>※写真2の説明</p> <p>実際の避難所に近い状況を再現し、参加者がダンボールを使い作った避難スペースで非常食を食べている様子 2020年11月7日（土）戸田川緑地</p>	
<p>〈企画・運営者の声(感想)〉(350字程度)</p> <p>参加者一人ひとりに防災の重要性や、コロナをはじめとした感染症対策について理解いただく事を目的とした講座内容を企画。今回の講座はコロナ禍の影響もあり、例年より参加者数は減ってしまいましたが、一人ひとりが熱心に取り組んでおり、参加者に防災・感染症対策の重要性を伝えることが出来たと感じている。</p>			
<p>〈受講者の声(実感した反応及びアンケートより)〉(3～5点、計350字程度)</p> <p>とてもいい内容です。避難所には行きたくないですが、もしもの知識としていい勉強になりました（40代会社員女性） 実際にやってみて気づくことが多く参加してよかったです（40代自営業女性） 防災意識の高いスタッフさんから色々な現地の話をきくことができた（40代女性） 災害の意識のうすさにきづかされました。人事ではないのだとまじめに対策して行きたいと思います（30代会社員男性）</p>			

●団体紹介

団体所在地	〒461-0001 名古屋市東区泉1-13-34 名建協2階		
連絡担当者	林 大地	ウェブサイト	http://www.rsy-nagoya.com/
TEL	052-253-7550	FAX	052-253-7552
E-mail	info@rsy-nagoya.com	携帯電話	090-5000-8386
〈団体・企業の簡単な紹介・PR〉(150文字程度)			
<p>当団体は1995年の阪神淡路大震災でのボランティア活動を原点として立ち上がった団体であり、</p> <p>過去50ヶ所以上の地震・水害・噴火の被災地で緊急救援活動と、長きにわたる復興支援活動を行っている。</p> <p>また、平常時には、被災者の声・教訓から学び、その声を地域社会へ伝え、「災害に強いまちづくり」の手助けをしている。</p>			

●講座開催情報

第一回	講座名	あそぼうさい・まなぼうさい		
	講師名	レスキューストック ヤード	参加人数	45 名
	内容	水害体験などを通して自然災害から自分の命を守る「ワザ」や、コロナ等の感染症対策を楽しみながら学ぶことができる体験型イベントを実施した。		
第二回	講座名	実践！避難所サバイバル体験！		
	講師名	エンジェルランプ 代 表 椿 佳代	参加人数	26 名
	内容	参加者で避難所生活をするためのスペース作りを実施。実際に過去の避難所の写真を見せながら、被災者が避難所で困ったことや、コロナ等の感染症対策について説明した。		